

## 【家庭教育支援チーム】

<b>チーム名 (呼称)</b>	国分寺市家庭教育支援チーム (呼称: プレイセンター・ピカソ ) URL: <a href="http://www.geocities.jp/pica_beans/">http://www.geocities.jp/pica_beans/</a>
<b>活動開始年度</b>	平成14年度
<b>活動拠点</b>	国分寺市北町野中神明宮共益公会堂
<b>活動範囲</b>	国分寺市、小平市、立川市、昭島市、国立市、東村山市、東久留米市等
<b>活動財源</b>	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携による教育支援促進事業) <input type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
<b>組織体制</b>	8 人 NPO 法人日本プレイセンター協会認定スーパーバイザー5 人、地域ボランティア 3 人、(それ以外に卒業した保護者数人がサポートしている)
<b>具体的な活動内容</b>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>                     ニュージーランドの「親子が共に成長する」幼児教育施設をモデルとした就学前の親子の遊びと学びの場を開いています。スーパーバイザーが親子の遊びや学習のサポートをすることで、遊びを通して学べる場を提供しています。保育付きの親の学習会が月に一度あり、同じ育児の悩みを抱えた者同士が安心して語りあえます。参加者が垣根なく率直に意見を出し合って、互いに学び合う場となっています。「遊びの意味」「遊びの見守り方と観察方法」「安全と衛生」「運営とリーダーシップ」など、卒業してからも役立つ知識と技術を学ぶことができます。                 </p>



また、月 1 回は「家族で遊ぶ日」として、近隣のプレーパーク(NPO 法人こ  
だいら自由遊びの会主催)に、父親や兄弟や友達を連れて参加すること  
ができ、異年齢の大人や子どもとのふれあいを継続的に経験できるよう  
にしています。他にも、毎水曜に公園に集まって遊んだり、近所に畑を借  
りて、地域の方々に教わりながら年間を通して野菜を育てて土に親しんだ  
りと、その時の親達のアイデアを活かして活動の幅が広がっています。卒  
業生の会もあり、畑やプレーパークなどで、卒業してからも付き合いが  
続き、助け合うことが自然にできる関係ができています。このように、子  
どもたちの自由な遊びと、親の学習会、親の自主運営を通して、自分の子  
どもだけではなく複数の子どもとの関係を築けるようになり、親と子が  
共に成長する場となっています。



活動を通して感じていること  
(成果、課題など)

子どもが自由に遊びを選べるコーナー遊びで、自分の好みや興味を尊重してもらえると、子ども達は、自主性や自己肯定感を自然に伸ばしていくということを感じています。親の学習は、学んだことを、その時だけの知識で終わらせるのではなく、定期的にかけている遊びの場で、実際に目の当たりにしたり、体験したり、仲間と共有することできるため、理解が深まり、別の学びに広がったりと、効率的に知識や技術を使えるようになっていくと思います。遊び場で起きたトラブルさえも学びのテーマとなり、皆が当事者としてアイデアを出し合いながら、解決し合う姿などに、日々の学びの成果が表れています。学んだことを実践して、またそこから学ぶことの繰り返しで、親はより子どもを深く理解します。そして自分なりの納得する答えを見つけることができるようになり、家に帰ってからも親子の付き合い方に工夫を加えることができるようになるようです。親たちは、通常、家の中だけで孤立して育児をしていると、自分の能力を活かす場がなく、自信を失いやすいと思いますが、プレイセンターに来て、好きな事や得意なことを活かして運営に関わることで、生き生きとして、自信をもつことができるようになります。それが卒業してからも、育児だけでなく地域社会の活動へ参加する原動力となっていると感じています。